



# 国際交流のひろば

## 留学生オリエンテーション

4月9日(木) 12時から人104において、平成27年度4月入学留学生オリエンテーションを実施し、留学生、教職員が出席しました。

最初に押木留学生支援専門部会長から挨拶と「4つの留学生支援方針」の説明があり、「留学生履修プログラム」「就学・生活上の諸手続」「宿舍入居の注意」など国際交流チーム主査から説明がありました。



## よろしくお祈いします!

4月に7名の留学生が入学しました。

これにより、本学で学ぶ留学生の数は博士課程の留学生を含めると27名となりました。現在、中国、台湾、フィリピン、キューバ、スロベニア、フランスからの留学生が在籍しています。(写真は1名がまだ渡日していないため6名です)

## 外国人児童生徒への修学支援プロジェクト報告会・説明会

4月22日(水) 13時から、24日(金) 12時から人104において、平成26年度報告会及び平成27年度説明会、メンバー登録会を行いました。

「外国人児童生徒への修学支援プロジェクト」は、毎週月曜日と水曜日の放課後、本学において、上越地域在住の外国人児童生徒への学習支援を行っており、現在、大学院生、学部生、留学生が活動しています。



## 平成26年度「海外教育(特別)(実践)研究B」研究報告会



3/13 小学校での授業実践

4月22日(水) 13時から人105において、参加した学生及び教職員による報告会を開催しました。

これは学部及び大学院の授業科目で、3月4日(水)から3月17日(火)までの14日間、アメリカのアイオワ大学、アイオワ市及びロサンゼルス市の小学校を訪問し、授業実践等の海外研修を実施したものです。

海外での短期の生活を通じて、その国の教育の実態及びその文化に直接触れ、日本と異なる教育制度・内容等の理解の深化を図り、教育者として必要とされる広い視野や高い識見及び豊かな人間性の育成を図ることをこの授業の到達目標としています。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

# 国際交流のひろば



## 語学教室が始まりました

5月13日(水)から人104教室において、スペイン語教室が始まりました。

キューバ出身の留学生が講師となり、10名の受講者が参加し、学校で外国人児童生徒を迎えた時にも使える簡単な表現や発音などを学んでいます。

5月は、アルファベットの読み方、挨拶、自己紹介、家族の呼び方などを学びました。

この語学教室は全7回行う予定です。



## 新入生です。よろしくお願いします!



**教員研修留学生 コンソラシオン・チャーリー・ブハット (フィリピン)**  
はじめまして。私はフィリピンでは高校の先生です。2014年9月に日本に来て10月から3月まで新潟大学で日本語を勉強しました。1年間、教員研修留学生として、上越教育大学の数学コースで勉強します。  
日本に留学に来る機会は本当に素晴らしいと思います。なぜかという、日本の教育について沢山学ぶことができるし、雪遊びや花見を体験することもできるからです。  
時間のある時は映画を見たり、音楽を聴いたりします。沢山の楽しいことや面白い経験を楽しみにしています。どうぞよろしくお願いします。

**学校臨床研究コース 研究生 王 章 (中国)**  
こんにちは。私は中国福建省出身です。自分の視野を広げるために、上越教育大学に留学生として参りました。  
私は日本のドラマが好きです。特に「半沢直樹」「リーガル・ハイ」は面白いと思います。納豆は日本に来てすぐに好きになりました。味噌汁はちょっと苦手です。得意なスポーツは、バレーボールです。でも中国のボールは柔らかいので日本とは少し違うかもしれません。将来の夢は、教育関係者になることです。  
日本での留学生生活は困難なことがあると思いますが、最後まで頑張ります。よろしくお願いします。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば

## 平成27年度第1回留学生が語る／留学生と語る会

6月24日（水）17時30分から講義棟301教室において、平成27年度第1回留学生が語る／留学生と語る会を開催しました。

この会は本学国際交流推進センター留学生支援専門部会が企画し、外国人留学生に対する理解や関心を高め、異文化理解マインドを育てるため、外国人留学生から自国の紹介等をしてもらい、留学生と語りあう機会を提供することを目的に実施しています。

今回の語り手は、黄清瑜さん(中国)、邱子庭さん(台湾)、マウリチ・ヤコブさん(スロベニア)、サンチェス・ゲッラ・ダヤナさん(キューバ)の4名で、「和食とあなたの国の食」をテーマに留学生が語り、また参加者と語りあいました。

最後に自然・生活教育学系 光永伸一郎教授より、日本型食生活の紹介をしていただきました。

今回は市民の方にもお越しいただき、教職員、学生などを含め、約65名の参加があり、有意義な時間となりました。



## 国立新竹教育大学への派遣留学生の留学レポート

平成26年度海外留学支援制度（短期派遣）により、平成26年10月～平成27年6月まで台湾の国立新竹教育大学へ留学中の三輪峻之さんから留学レポートが届きました。

### 美術コース 大学院3年 三輪峻之

約9カ月の間、台湾の新竹教育大学に留学していました。中国語を話せないで台湾に行くことは不安でしたが、現地でクラスメートや先生、事務の方などに助けをいただき、困ることなく貴重な日々を過ごすことができました。

クラスメートの美術に対する考え方は、美術のことを学び始めて短い私にとって、見習わなければならないものばかりでした。多くの学生が美術を学んでいるため、身近に同世代の様々な作品を見ることも出来たので刺激的でした。

また、仲の良い友達が観光名所やご飯の美味しいところなどに連れてってくれたので、台湾の街を満喫することもできました。一人でも移動できるようになってからは、自分だけで観光しに行くこともありましたが、日本人だと分かると丁寧に説明してくれたり、親しげに話しかけてくれたりと、台湾の人たちは誰もが優しく、明るく活気で溢れていました。

この留学での体験は、自分にとってかけがえのないものとなり、ますます台湾を好きになりました。



十分にて（左端が三輪さん）

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666（研究連携課 国際交流チーム）



# 国際交流のひろば

## 上信越自動車道工事現場見学及び高速道路利用体験

7月8日(水)及び15日(水)、NEXCO東日本の要請により留学生が金谷山トンネルの工事現場及び高速道路の利用体験に参加しました。

これは高速道路事業を通じた地域貢献・観光振興等及びサービスの充実等を図るため、外国人の目からみた率直な意見・感想を求められたものであり、留学生は高速道路の標示、走行具合、サービスエリアの状況について意見や感想を述べていました。



## 台湾・国立嘉義大学附属小学校 方瑞貞先生の講演会



7月5日(日)から24日(金)まで、本学協定校の台湾・国立嘉義大学附設実験国民小学校・英語教員の方瑞貞先生を外国人研究者として招へいし、本学、附属小学校、市内小学校にて授業実践や交流・視察をしました。

7月15日(水)16時から講201教室において「台湾の小学校での英語教育事情について」をテーマとして講演会を行い、教職員、学生等、約30名の参加がありました。

## 外国人留学生奨学金説明会

7月22日(水)13時15分から人114教室において「平成28年度各種奨学金に関する説明会」を開催しました。

外国人留学生の修学を支援することを目的とした「ロータリー米山記念奨学金」「平和中島財団奨学金」「国費国内採用」等の奨学金の募集や応募の仕方について留学生支援専門部会の白岩先生から説明がありました。



## 平成27年度地域貢献事業外国人児童生徒への修学支援<sup>※</sup>「夏休みの宿題教室」



7月22日(水)23日(木)17時30分～19時30分、人213、214教室等において実施しました。

本学地域貢献事業「上越地区在住の外国人児童生徒に対する修学支援事業」の一環であり、上越市及び上越近隣地域在住の外国にルーツをもつ児童生徒を対象に支援するものです。

留学生及び日本人学生が支援者として参加し、2日間で延べ14名の小中学生が持参した夏休みの宿題を中心に取り組みました。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

# 国際交流の ひろば

上越教育大学

第164号 2015年8月

## 留学生の日本文化・歴史体験及び地域交流に関する研修

8月10日(月)、11日(火)新潟県佐渡市に研修に行きました。外国人留学生が日本文化と歴史体験から地域の交流と本学の日本人学生との交流の機会を提供することが目的です。佐渡金山、西三川ゴールドパーク、トキの森公園、妙宣寺、宿根木等の見学とたらい舟体験をしました。

王佳穎さん(中国)に感想文を寄せてもらいました。

### 大学院1年(学校臨床研究) 王佳穎(中国)

佐渡島の修学旅行は楽しかったです!綺麗な景色に加え、美味しかった料理や佐渡の独特な文化が体験できて良かったと思います。私が一番深い印象を持っているのは、佐渡金山とトキです。金山で鉱夫の働いている様子の模型を見た時、当時の鉱夫の労働の姿が私の頭に浮かんできました。鉱夫の力の限り頑張る精神を学んで、私も自分の研究に努めると決心しました。

金山は佐渡の近代社会の印とすれば、佐渡の自然の象徴はトキと言えるでしょう。そんなに美しい鳥が野生絶滅になったのは本当に残念だと思います。しかし、野生復帰ステーションで自然に戻るために頑張っている様子は、人間とトキの共同の努力を通じて、自然にトキの子孫が繁栄できると信じています。またその日の到来を期待しています。

今回の旅行は本当に忘れられない旅行だと思います。



佐渡金山にて



西三川ゴールドパークで砂金採り

## 平成27年度短期外国人留学生成果発表会



8月24日(月)13時から人113において、平成27年度短期外国人留学生成果発表会を行いました。

平成26年10月~平成27年9月までの期間、交換留学生として学んでいる本学協定校からの6名(哈爾濱師範大学、内蒙古民族大学、国立新竹教育大学から各2名)及び日本語・日本文化研修留学生2名の計8名が、日本での留学生活と本学での研究成果について発表しました。

発表後、朱愷芸さん(台湾)は「この1年間の学習の成果をまとめることができ、皆さんに発表できたことがとても嬉しかったです。」と感想を話していました。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



## 平成27年度短期外国人留学生修了証書授与式

9月2日(水) 13時30分から大会議室にて執り行い、昨年10月から学部特別聴講学生として留学した中国協定校からの6名(哈爾濱師範大学、内蒙古民族大学、国立新竹教育大学の各2名)と日本語・日本文化研修留学生2名(キューバ、スロベニア)に、学長から修了証書が授与されました。

1年間の留学を無事に終え、ほっとした様子で、それぞれ9月に帰国されました。



### 日本語・日本文化研修留学生 サンチェス ゲッラ・ダヤナ (キューバ)

自分の運命を考える時、すべての出来事には理由があると思います。日本に来るチャンスが出来る、素敵な人たちに出会って、これは運命だと思います。この留学のおかげで、ただ日本語の勉強だけでなく、人生のことについて色々なことを学びました。違うことが悪いことではないと分かりました。日本の生活と習慣を味わって受け入れるようになりました。友人の大切さを評価して、今からもっと大事にしていきたいと思います。自分で生きる楽しい所を見つけました。上越市は静かですが、楽しい思い出も持って帰ります。カラオケ招き猫は休日の大事な友達になりました。パリストカフェは日本の家族と一緒に生活について話させてくれてありがとうございました。ラピスは冷たい夜や希望が見えなかった時、美味しいご飯をありがとうございました。もっとお世話になった場所があります。それは留学生交流プラザです。留学生にとって日本のホームの意味はあそこにあります。いつも、様々な思い出を思い出します。ラテンの友達と授業が終わってコーヒーを飲んだこと、日本語の片野先生と宿題の相談など助けていただいたこと。また歌ったり、はしゃいだりしたこと。やはりその所を特別にする人は一人です。私たちのお母さんのようです。素敵な友達、葦原さんです。

みなさん、今まで色々助けていただいてありがとうございました。お世話になりました。

## 修了生からの手紙

平成27年3月に教員研修留学生として修了し、現在、ブラジルで日本語教師としてご活躍されているマチャド・ダニエル・ドス・サントスさんからお手紙が届きました。

今ブラジルに春が始まりました。ブラジルの春は暑くて、日本の春と違います。日本はまだ暑いですか。私は一年間上越で暮らしました。教員研修留学生として上越教育大学で勉強しました。上越に住んでいた時、様々な経験ができて、文化や言語などいろいろな日本のことを学んで、大変勉強になりました。それに、たくさんいい思い出を作ることができました。

ブラジルに帰ってから、日本へ行く前の私と今の私は同じ人ではないことが分かりました。

私の日本語を教える能力が増えたり、日本文化の知識を深めたりして、先生として過去になかった自信を持てるようになりました。上越の皆さんのおかげで、もっと日本人の性格や精神が分かりました。それに、日本で買った教材などは便利です。毎日の生活にも影響がありました。世界は広いということも教えてくれました。日本で覚えてブラジルでしていることは、①何でも我慢すること。②自分のゴミは持ち帰る。③遅刻は失礼! ④地球の反対にも友達ができる、ことです。皆さん、暑い中、気を付けてください。時は友情を深めるということをお忘れなく。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)

# 国際交流のひろば

上越教育大学  
第166号

2015年10月、11月



## 留学生オリエンテーション

10月29日(木)12時から人104において、10月入学の留学生を対象にしたオリエンテーションを実施しました。最初に黎国際交流推進センター長から挨拶、次に押木留学生支援専門部会長から「修学・生活・日本語・連携の4つの留学生支援方針について」、国際交流チーム主査から「履修プログラム」「修学・生活上の諸手続き」等の説明がありました。



## よろしくお祈いします!

10月に入学した留学生は中国15名、台湾1名、チェコ1名の17名です。これにより、本学で学ぶ留学生数は、博士課程を含めると34名となりました。

劉成思さん(中国)に自己紹介をお願いしました。

### 日本語・日本文化研修留学生 劉成思(中国)

こんにちは。私はハルビン師範大学の日本語科の3年生で、交換生として上越教育大学で一年間勉強します。日本に来ることができてとても嬉しいです。日本語を上達するのは私が上越教育大学で勉強する目標です。私の興味はドラマを見ることや料理を作ることや音楽を聴くことです。日本で生活するのが楽しいと思うもう一つの理由は食べ物が美味しいです。回転寿司とラーメンは私の大好物です。お菓子とかも大好きです。日本に来て美味しい物をいろいろ食べながら勉強もいろいろできますので、日本に来て本当に良かったと思います。どうもありがとうございます。

## 学長とH27年度入学留学生との懇談会

11月11日(水)12時から大会議室において懇談会を実施し、学長、理事、副学長、留学生指導教員、留学生支援専門部会委員と留学生の計46名が出席しました。

留学生の自己紹介、学長からの歓迎と励ましの言葉があり、昼食をとりながら、和やかに懇談が行われました。



## 留学生等の交通安全教室

11月25日(水)16時から大会議室において交通安全教室を実施し、留学生22名が出席しました。押木留学生支援専門部会長の挨拶の後、上越警察署交通課及び警備課職員による交通安全指導等、自転車のルールを中心とした道路での通行の仕方、身近な犯罪などについてお話がありました。

参加した留学生は熱心に耳を傾けていました。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば



## 世界を語ろう!

11月18日から12月16日までの毎週水曜日のランチタイムに「世界を語ろう!」を行いました。

留学生交流プラザに留学生、日本人学生、教職員が集まり、世界の文化・生活・言葉...などについて一緒におしゃべりしながら交流しました。

留学生による中国雲南省、中国内蒙古、フィリピン、チェコおよび日本人学生による台湾の話題で行いました。

参加した三輪峻之さん(美術・M2)は「様々な国のことをそれぞれの国の人たちから直接聞けるので、生活や食文化についてよく分かりました。こういう機会があることで、国際交流ができることは、とても貴重な体験となりました」と感想を話していました。



11/25

・伝統的な家  
・モンゴルゲル

12/9

・カトリック  
・フィリピン



## 留学生との意見交換会



12月16日(水)16時30分から大会議室において、外国人留学生との意見交換会を実施し、留学生、チューター、教職員など50人が出席しました。

留学生支援専門部会員の白岩部会委員が司会進行し、黎国際交流推進センター長の挨拶に続き、小グループごとに意見交換を行いました。

留学生からは雪が降った時の生活への不安や授業、宿舎、交流など様々な意見が出されました。この会で得た意見は、今後の留学生支援につなげていきます。

## J.TEST実用日本語検定受験

11月15日(日)本学において、留学生30人がJ.TEST実用日本語検定を受験し、12月18日(金)留学生支援専門部会の田島部会委員が成績通知と講評を行いました。

この試験は留学生の日本語能力を公正かつ客観的に評価し、今後の留学生に対する日本語支援に役立てることを目的に実施しています。

留学生が受験したものは中級～上級者向けで、点数により能力を特A～D級に判定します。難易度は毎回一定のため、毎年受験することによって日本語力の進歩がわかります。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば



## カレル大学への派遣留学生の留学レポート

本学と協定校であるチェコのカレル大学へ留学中の田中三智さん（海外留学支援制度（協定派遣））と橋本健さん（私費留学）から留学レポートが届きました。

### 社会系コース 大学院3年 田中三智

私は教育学部の芸術学科に所属しアートに関係しつつも少し違う内容を学んでいます。ここでは授業などを受けるかどうかは自分次第です。私がとても驚いたのはゼミが存在しないことです。先生からの指導はコンサルテーションと呼ばれ、一対一で指導を受けます。私は言いたいことを書面にし、先生の指導を録音することでなんとか理解しています。大学内は英語が通じますが、私のように英語ができないと本当に苦労します。チェコではクリスマスシーズンが終わるとセールが始まり、50～70%OFFというのが日常的な光景です。プラハに来て1か月は全く日本食を食べず、パンを買いスープを自炊し、ハムとチーズでビールを飲むというのが日常の食事でしたが、美味しい日本料理店をみつけてからは「多少高い金額を払ってでも今日は生姜焼きが食べたい」ということで外食が増えました。私は最新かつ最高設備の整った寮に住んでいます。寮は授業を行っている大学の校舎と大学関係者及び一般旅行者向けの普通のホテルと接しており、私の向かいの部屋では普通に授業をしています。しかし最新できれいな施設といっても不備がありました。一番困ったことは電圧が安定しないことで、日本から海外対応の電化製品を購入してきたにもかかわらず壊れるケースがあり、持参したものが生きてくれていることに感謝しつつ日々を過ごす毎日です。



### 美術コース 大学院1年 橋本 健

人それぞれ留学によって学び得ることは違うと思います。確かに私の留学の目的の一つは西洋の美術を本場の空気と情緒の中で触れて吸収するという事であり、実際カレル大学でドローイングや版画の授業を受講したりもしました。ですが、私の場合、今回の留学は実学的な事を「学ぶ」機会というよりも、世界や自分を顧みて「考える」機会になっているように思えます。自分で考えて自分で行動するというのは当たり前のように難しい事なのかもしれないと感じさせられます。というのも、私にとって今回の留学は私の意思から始まった、ある意味ゼロからの出発だったからです。私だけかもしれませんが恐怖さえ感じました。ただそういった中で弱い自分を見つけて、一つ一つ考えて壁を乗り越えるとともに、いつの間にか物事に動じないでいられる自分がここにいるような気がします。じっくりとプラハで哲学して、しっかりと世界を自分の目で見据えられるようになりたいと思います。

（写真：フルコバ先生と）



海外への留学について様々なプログラムがあります。

「トビタテ！留学JAPAN」日本代表プログラム」「海外留学支援制度（協定派遣）」「インターシッププログラム」「馬場財団国際理解教育人材養成奨学金」「公益財団法人平和中島財団」他。留学を希望する方は、研究連携課国際交流チームまでお問合せください。

#### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666（研究連携課 国際交流チーム）

# 国際交流のひろば



## 平成27年度第2回留学生在が語る／留学生と語る会

2月6日(土) 14時から今年度第2回目は「まちを歩きながら語ろう」として行いました。と、市民ボランティアガイドの解説を聞きながら、町家交流館高田小町、高田世界館、雁木、高野醤油店、警女ミュージアム、小川着物店、今井染物屋の見学をし、警女宿ライブの鑑賞もしました。留学生、チューター、教職員25名が参加しました。

参加した留学生は「日本の伝統的な文化について学んだ」「日本の古い店の歴史を勉強した」など感想を述べていました。



## 韓国教員大学短期留学プログラム（受入れ）



2月16日(火)から19日(金) 本学協定校の韓国教員大学から学部生10人と引率2人の計12人が来学し、短期留学プログラムを実施しました。

4日間のプログラムでは、開講式、学内見学、歓迎会、茶道体験、学生団体との交流、特別講義・学生交流ディスカッション、附属中学校での授業実践等、市立博物館見学、雁木どおり散策を行い、本学教員や学生との交流を深めました。

## 留学生スキーのつどい

2月22日(月) 23日(火)の一泊二日、赤倉観光リゾートスキー場において留学生スキーのつどいを行いました。

スキー発祥の地である上越の地域性を生かし、留学生にスキーを体験させるとともに、スキー実習を通して留学生相互及び教職員・学生との親睦を図ることを目的として実施しています。

参加した謝さんから感想文を寄せてもらいました。



### 大学院1年 美術コース 謝昊驊（中国）

去年の4月に入学して色々な活動に参加しましたが、すごく嬉しかったのは留学生スキーのつどいです。私は中国の南の地方の出身なので、スキーは全然経験がありませんでした。スキー教室では、何度も転びました。転んだときは全然痛くなかったですが、スキーを履いているので起き上がるのが難しかったです。起きてもまた滑ってしまうことが心配でした。次の日もスキーをしました。自分で自分を励まして、怖い感じはなくなったので、すごくうれしかったです。以前の私ならこのようなことは絶対に遠慮して諦めました。自分を越したことは本当にうれしかったです。いつも先生が側にいて、話したり、教えてくれて感謝しました。この後の1年間で色々な活動がありますが、その時は必ず自分の力を出します。その時はよろしお願いします。

### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)



# 国際交流のひろば

## 平成27年度上越教育大学国際交流のつどい

3月3日(木)16時30分から本学第一食堂において、平成27年度上越教育大学国際交流のつどいを開催しました。

上越市、上越国際交流協会、近郊のロータリークラブ、上越青年会議所、本学振興協力会など、日ごろ交流のある地域団体の方々と本学教職員、留学生、チューターなど約90人の参加がありました。この会は、本学留学生にご支援をいただいている地域の方々と本学教職員及び留学生等が意見交換を行い、本学の国際交流推進に役立てるとともに相互の親睦を深めることが目的です。

第一部では本学の国際交流の現状及び留学生の体験発表があり、第二部の外国人留学生との懇談会では、留学生と関わりのある多くの方からご意見をいただき、それぞれが交流を深める有意義な時間を過ごしました。

留学生の体験発表



懇談会

## 平成27年度教員研修留学生修了証書授与式



3月14日(月)13時30分から学長室にて、昨年4月から教員研修留学生として留学したコンソラシオン・チャーリー・ブハットさん(フィリピン)に修了証書が授与されました。チャーリーさんは「教員研修留学生として私を受け入れてくださってありがとうございました。ここで数学教育について沢山学びました。フィリピンに帰ったら、私の生徒と学校の教員に日本の教育についてシェアして教えたいと思います。」と感想を話しました。

1年間の留学を無事に終え、ほっとした様子で3月末に帰国されました。

## 修了留学生への記念品贈呈式

3月14日(月)13時45分から学長室にて、3月に修了する大学院生4名に対し、学長から記念品が贈呈されました。

修了生の郭双竜さん(中国)は「2年間お世話になりました。これから社会に出ますが、大切な役割を果たせる人になりたいです。これからも知識や知恵を大切にして教養を高めていけるように努力します。ありがとうございます。」とお礼の言葉を述べていました。



### 発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」  
Tel:025-521-3666 (研究連携課 国際交流チーム)